

響ひびき



〒384-0006
小諸市与良町6-5-5
TEL.0267-31-0251
FAX.0267-31-0140



令和4年3月7日
No.9



響 ひびき

響 第9号「響 ひびき」 ーもくじー

ごあいさつ		②
研修の窓	授業のバトンをつなぐ ～A中学校の授業づくりから～	③
研修の窓	進歩と発展 初任研1年次プログレス研修	④
研修の窓	節目の時期に子どもの姿を通して 自分を振り返る 初任研2年次プログレス	⑤
研修の窓	子どもたちのためにできることを探して ～授業づくり学級づくり研修会の輪から～	⑥
お知らせ	R4学校教育課主催の研修会等の予定	⑦
生涯学習課より	スポーツ振興、社会人権教育 社会教育、R4年度事業について	⑧
		⑨
		⑩

今年も、たくさんの教室で、たくさんの笑顔に出会うことができました。子どもと子ども、先生と子ども、先生と先生…。ひとつの「こと」が広がり、届き、影響し、反響し、残響がいつまでもあるように、関わりの響きが、互いの中に新しいものを生み出してきました。

私たち東信教育事務所も、そんな営みを見つめながら、すべての子どもたちの笑顔の響き合いを願ってきました。



「響ひびき」これまでのバックナンバーはこちらからご覧になれます。本誌掲載の実践などのより詳しい内容については、事務所までお問い合わせください。



令和3年度 東信教育事務所 年度末のごあいさつ

東信教育事務所長 挨拶

東信教育事務所長 池田 隆義

令和2年4月に赴任してからの二年間で東信地域の小中学校101校のうち、91校を主幹指導主事とともに学校訪問させていただきました。

日々の業務で忙しいなか、校長先生から学校運営について丁寧にご説明いただき、教頭先生のご案内のもと、先生方の授業を見学させていただきました。

授業参観では、子どもたちがグループで活発に話し合っている様子やタブレットを使っでの学習など、自分の子どもの頃とはだいぶ様変わりした様子に時代の違いを感じるとともに、校長先生との懇談では、自らが率先して、適切な学校運営のため様々な取組みをされていることを伺い、大変勉強になったところです。

さて、今年度も残りわずかとなりましたが、令和3年度も長引く新型コロナウイルス感染症に振り回され続けた1年でした。先が見えない中で、子どもたちの学びを止めず、そして子どもたちが一つでも多く良い思い出を残すことができるよう校長先生はじめ先生方が様々な取組をされてきたことに心から感謝申し上げます。

コロナ禍により、もう2年以上も子どもたちは不自由な学校生活を余儀なくされています。常時のマスク着用、会話ができず黙って食べる給食、楽しみにしていた修学旅行の目的地変更や日程の縮小、在校生や保護者のいない入学式や卒業式、全校が一斉に集まることのできない運動会や音楽会、部活動の休止など、一体、どのくらいの我慢と落胆を味わったことでしょうか。今の学年として、学び、あそび、友と触れ合い、いろいろな経験すること、これは一生にその年だけの一度きりの貴重な時間です。しかし子どもたちは、それらの多くを奪われてしまいました。これらは、コロナ禍が収まったからといって、または何年か経った後に取り戻せるというものではありません。そういう意味からも子どもたちは非常に大きな損失を被ったと言えます。しかし、そうした中であっても子どもたちは明るく、前向きにそして今の時間を大切に1年間の学校生活を過ごしてきました。

この子どもたちもやがては社会に出ていきます。社会に出ると自分の周りの世界は大きく広がり、そしていろいろな経験を重ねることになります。その中で自分の思いどおりにいかないこと、自分の力だけではどうしようもないこと、そしてときには理不尽なこと、こうしたことを幾度も経験します。そうしたとき、このコロナ禍を耐えてきた経験が必ず役立つことと思います。

困難は人を大きく成長させます。将来、困難に遭遇したとき、決して逃げるのではなく、前向きにそれに立ち向かいそれを乗り越えていくことができるでしょう。

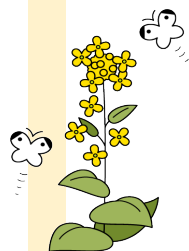
様々な負の状態をもたらしたコロナ禍ではありましたが、ある意味、子どもたちはこれにより日常とは違う多くのことを経験し、学び、そして困難に立ち向かう力を身に付けたと思います。

コロナ禍はまだまだ収まりそうにありません。不自由な学校生活はこれからも続くと思います。

しかし、いつかコロナ禍が収束したとき、そして子どもたちが大人になったときに、今の学校生活が負の記憶としてではなく、辛かったがこれにより自分は成長できたとプラスの気持ちで振り返ることができることを願っています。

そして、私たち大人も今の状態を悲観しているばかりでなく、子どもたちの手本となるよう前向きに生きていかねばならないのではないのでしょうか。

最後に、改めてこの一年間の長野県教育委員会の各種施策や東信教育事務所の諸事業に対するご理解とご協力に心より感謝申し上げます、最終号のあいさつとさせていただきます。



学校教育課長 挨拶

学校教育課 課長 牛越 雅紀

令和3年度は、オリンピック、パラリンピックで日本人アスリートが大活躍！という明るい話題もありましたが、長引くコロナウイルス感染症との闘い、そして世界を一気に不安に陥れたロシアのウクライナ侵攻…。まさに混迷の真っ只中です。予測が困難な時代にあっても、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力を育むことがますます重要となっています。そんな思いを、学校の先生方と共有しながら1年間駆け抜けてまいりました。学校訪問や諸研修等で大変お世話になりました。

今後も「すべては子どもたちの笑顔のために」を合言葉に、(コロナ禍ではありますが)先生方と手を取り合い、勇気をもって前進してまいります。ありがとうございました。

生涯学習課長 挨拶

生涯学習課 課長 中野 禎仁

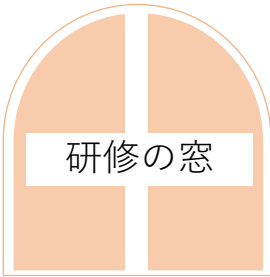
コロナによって参集して関わるのが困難な中、地域社会という窓から学校をのぞいてみると、学校のため、子どものためならと思いつつ、関われない大人がいかに多いことか。では、どうすれば・・・。

『多様な風を学校に』

日本には150種を超える風があるといえます。台風や北風は勘弁ですが、南風・そよ風・清風が校内に吹き込んでくれればと思うのです。鍵のかかっている窓を開けることができるのは、内からの学校です。学校が変われば地域が変わり、地域が変われば社会も変わることを信じ、来年度も「人づくり・ネットワークづくり・地域づくり」を目指します。

1年間ありがとうございました。





授業のバトンをつなぐ
～A中学校の授業づくりから～

互いの授業のよさや課題から学び、それを自身の授業に反映させていく実践は、さながら「**授業のバトンパス**」のようでした。

訪問①
単元構想



「願う子どもの姿」の共有

- ・研究グループの先生方と話し合う中で、先生方が願う子どもの姿は「生徒が課題意識をもち、意欲的に追究する姿」であることがはっきりした。
- ・その願う姿を大切に考えながら、指導主事と先生方で共に単元や1時間ごとの学習問題を考えた。

訪問②
B先生
授業



中1地理「ヨーロッパ州」の授業

- ・授業での生徒の姿から見えた課題
- ①振り返りの時間が短く、本時考えたことを生徒が十分にまとめることができなかった。(先生方から)
- ②学習課題「東西のEU加盟国の経済格差の解決策を考える」が中1の生徒にとってやや難しく、考えがもちづらいう様子だった。(指導主事から)



訪問④
B先生
授業

(地区中学校連合教科会公開授業)



C先生の授業を受け、同じ場面の授業をB先生が行った。

- ・**C先生の、「資料不足」という課題を踏まえ**、B先生は、事前に生徒の予想をつかみ、それに合わせた資料を準備。生徒はその資料を基に意欲的に話し合い、アフリカ州の人々に必要な支援とその優先順位を考えることができた。
- ・Zoomにて、このバトンパスのような実践の歩みが他校に紹介された。

訪問③
C先生
授業



見えてきたB先生の授業の課題を受け、C先生が、中1地理「アフリカ州への支援を考える」の場面で授業公開。

- ・**課題①を踏まえ**、導入を端的に。**課題②を踏まえ**、自分が1番必要だと考える支援を選び、選んだ理由を話し合う授業にした。生徒は振り返りの時間に、互いに提案した複数の支援策の中から、必要だと考える支援策を再考できた。
- ・**さらなる課題**として、生徒の予想に対する資料の不足が授業研究会であげられた。(先生方・指導主事から)

令和3年度学校訪問支援実施状況

(1) 単元訪問	351回
(2) ゾーン訪問	62回
(3) その他の訪問	61回

本年度も東信管内の学校をたくさん訪問し、A中学校のような、先生方が知恵を出し合い、授業を協働してつくる実践にたくさん出会いました。来年度も、「学校や先生方が実現したいこと」「子ども」を真ん中に、支援をしていきます。





進歩と発展

～ 初任研 1年次プログレス研修 ～

次に目指す自分を見つける初任の先生方の爽やかな姿です。子どもたち、保護者の方々、同僚の先生方、そして同期の仲間に感謝です。



ありがとうございました!!



←カラー版はこちら。
初任の先生方には、初任者研修応援号「響む」第2号をお届けしました！





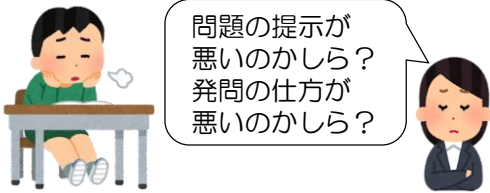
節目の時期に子どもの姿を通して自分を振り返る ～初任研 2年次プロGRESS研修～

先日行われた初任研2年次プロGRESS研修では、子どもの姿を通して自身の取り組みを振り返った先生方の姿が印象的でした。

K先生は、授業でのM児の姿から、子どもたちが学習の見通しをもてるようにするための発問の工夫、子ども自身が問題解決の鍵を見つけられるような支援のあり方を今年度の自己課題として、追究してきました。

～A小学校K先生の実践～

何を聞かれているか分からない
考えることをあきらめかけていたM児



①聞かれていることは何か？

②分かっていることは何か？

③どうしたらこの問題解けそうかな？

今まで学習してきたことの何を鍵にしたら解けそうかな？



どうやったら解けそうかグループで考えてみよう。

様々な支援を継続して行うことで...



次はこうすれば、解けるかもしれない。

K先生が取り組んだこと

- ◆端的で分かりやすい発問
- ◆発問のスムーズステップ化
- ◆問題を解決するための鍵（既習事項）を見つけられるような支援

これらのことを、継続して行ったところ、見通しをもちづらかったM児が見通しをもつことができるようになったそうです。

K先生は、「難しいと思っていたけれど、M児が成長できた。ちょっとした工夫を今後でも重ねていきたい」と振り返っていました。わずかでも成長した子どもの姿を見ると、私たちも嬉しいですね。

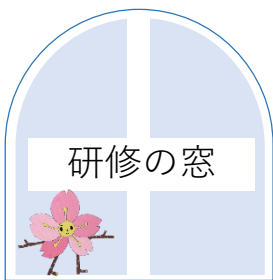
子どもの姿をきちんと捉えること、「なんとかしたい」と真剣に考え、その子にあった指導を考えること、根気強く実践することなどK先生の実践から大切にしたいポイントが見えてきました。K先生の指導の根底には『子ども一人一人の立場になって考え、寄り添う』ことがあったのだと思います。

語り合った先生方からは、「子どもの姿を捉え直したい」や「一人一人のことをきちんと見ていきたい」といった明日の授業につながる願いが聞かれました。

子どもの姿を通して自身の取組を振り返ることは、とても素晴らしいことですね。

節目の時期、自分の指導・支援について、子どもの姿を捉えながら振り返ってみましょう。子どもの姿が変わった背景には、先生方の指導・支援があったはず。よく分析してみましょう。そして、これからも子どものがんばりや成長を一番近くで支え、見とどけることができる先生でありたいですね。





子どもたちのためにできることを探して ～授業づくり学級づくり研修会の輪から～

4回行われた授業づくり学級づくり研修会。のべ120名を超える先生方に参加していただきました。子どもたちへの思いが参加者の輪を広げ、新たな動きとなった事例を紹介します。

第3回の分科会（体育・保健体育）の様子から

4名の先生が、課題と感じた領域の授業について実践を持ち寄り、学習カードのよさや改善点について話し合っています。



小学校 A 先生

お話をしていると、子どもたちのためにもっと小中学校が互いに意見交換をしながら何ができるかを考えてみたいと思いました。



中学校 B 先生

学区の子どもたちの話を小中学校で一緒にしたいですね。

今度、中学校のB先生が授業を公開します。A先生は、同じ中学校区でしたね。中学校の授業を見たり、懇談できたりする機会が設定できるといいですね。B先生、いかがですか？



指導主事

指導主事が、A先生がB先生の授業を参観し、中学校の先生方と懇談する時間を設定していただけないか中学校と相談。

広がる授業研究の輪、深まる懇談の輪



〈B先生の授業と授業研究会〉

B先生の保健の授業では、ストレスへの対処の仕方について、グループの友とそれぞれの経験を基に話し合い、タブレット端末を使ってまとめました。

研究会でA先生は、「生徒たちが積極的に意見を出し合い、互いの意見を認め合う姿を見て中学校へ進学するとこんなにも成長しているんだなと感じました。今日の生徒たちの姿を見据え、目の前の子どもたちに何ができるかを考え実践していきたい。」と小学校の教師から見た意見を先生方に伝えていました。



〈懇談会で話題になったこと〉

- 中学の授業で運動の楽しさを味わえるようにするために、小学校ではどのような子どもたちを育成していけばよいか。
- 球技や器械運動等を中心に系統性のある小中のカリキュラムを小学校の実態を把握しながら再構築していきたい。

それぞれの立場から思ったことや今後とも行っていきたいことなどが話し合われました。子どもたちのためにできることを考え、連携していくことを明確にできた懇談会でした。

本研修会が、1回限りの研修会で終わるのではなく、先生方が、子どもたちのために研修の輪を越えて動き出すきっかけとなりました。来年度はさらに先生方がつながり、内容が深まる研修会を目指していきたいと思います。



R4 学校教育課主催の研修会等の予定 (※初任者対象を除く)

授業づくり学級づくり研修会 対象：臨時的任用教員及び希望者

期日	会場 (予定)
第1回 4月26日 (火) 第2回 5月20日 (金) 第3回 7月14日 (木) 第4回 11月28日 (月)	東信教育事務所 ※第1回は各学校等で実施

気軽に ちょっと相談会 対象：臨時的任用教員及び希望者

期日	会場 (予定)
5月～2月随時受付	オンライン

研究主任研修会 対象：研究主任，ミドルリーダー等

期日	会場 (予定)
第1回 5月13日 (金) 第2回 ①上小地区 8月26日 (金) ②佐久地区 9月1日 (木) 第3回 11月24日 (木)	第1回・3回はオンライン 第2回は東信教育事務所

研究主任サポートネット 対象：はじめて研究主任になった先生、希望者

期日	会場 (予定)
第1回 4月25日 (月) 第2回 5月24日 (火) 第3回 6月21日 (火) 第4回 8月19日 (金)	オンライン

外国語・国際理解教育 対象：外国人児童生徒の指導に携わる担当者・学級担任等

研修会名	期日	会場 (予定)
外国人児童生徒等指導研修会	第1回 6月2日 (木)	オンライン開催 (勤務校)
	第2回 日時未定	会場未定

人権教育 対象：学校人権教育に携わる教職員・人権教育担当者等

研修会名	期日	会場 (予定)
学校人権教育研修・連絡協議会 (上小・佐久合同)	5月24日 (火)	佐久合同庁舎
学校人権教育研修・連絡協議会 (佐久)	11月1日 (火)	佐久合同庁舎
学校人権教育研修・連絡協議会 (上田)	11月29日 (火)	上田合同庁舎

初任者研修関係 対象：初任研指導教員等

研修会名	期日	会場 (予定)
初任研研修コーディネーター・指導教員等連絡会	4月15日 (金)	東信教育事務所
初任研研修コーディネーター・指導教員等研修会	7月15日 (金)	
初任研関係学校長等連絡協議会	2月14日 (火)	

不登校等・進路相談関係 対象：相談を希望する中学生及び保護者

相談会・説明会名	期日	会場 (予定)
進路はれやか相談会	7月25日 (月)	佐久創錬センター
	7月26日 (火)	上田創造館
高校進学説明・相談会	11月4日 (金)	上田創造館
	11月8日 (火)	佐久創錬センター

生涯学習課 ご参加いただきありがとうございました

スポーツ 振興

誰もが運動に親しみ、体力の向上を図るために

総合型クラブネットワークアクション (9/3)

テーマ：子どもたちのスポーツを止めない！今地域でできること

◆地域・学校・行政「まぜこぜ社会」に学びました。

スポーツ指導者連携会議 (10/29)

実践発表：「障がいのある子どもへの支援の工夫」

◆具体的な支援の取組から、地域の障がい者スポーツ振興について考えました。

東信地区の

- ・学校職員
- ・総合型SC指導員
- ・スポーツ推進委員
- ・行政担当者
- ・体育協会
- ・障がい者施設職員
等が参加

「運動教室」講師派遣事業

- ・職員研修、親子レク

先生も保護者も
リフレッシュ！

◆YouTube『東信教育事務所』チャンネル動画を視聴し「身体みがき体操」「ヨガ」等、動画講師による研修申込みもありました。



スポーツ用具貸出

- ◆出前講座「ニュースポーツ研修」で体験して、活用したい用具を借用する例も。
- ◆借用申請書をHPからダウンロード。提出がスムーズに！

社会人権 教育

人権の尊重される明るいまちづくりのために

人権教育スキルアップ講座 (7/27)

研修：小海町発・誰ひとり取り残さない町づくり

◆多世代で多様な人々に開かれた場「えきノまちあい室」に学びました。集いの場を表現の場に→小海高校美術班との交流もありました。

社会人権教育研修会 (10/28)

講演：「様々な人権課題について満蒙開拓から考える」

「映画館を学びの場に」

◆知ること、知った者の責任として伝えていくことが平和への道となってお話がありました。映画館を安心できる場所、自分の居場所にしていく取組に映画館の可能性を感じました。

研修会・講演会

- ◆職員研修 (LGBTQ)
- ◆非違行為防止研修 (風通しの良い職場づくり)
- ◆PTA講演会 (インターネット、LGBTQ)



信州型CSアドバイザー派遣の活用

～運営委員会を充実するヒント～

社会教育



コミュニティスクールの活動を充実させたい。まずは運営委員会を職員と運営委員のつながりを深める機会にできないかな。

充実のための工夫



- 信州型CSアドバイザー（小学校地域コーディネーター）を講師に呼んでみよう
- 運営委員会を夏休み中に行うことで、先生と地域住民が参加できるようにしよう

講師による活動の内容

- 緊張をほぐすアイスブレイク「こっちむいてホイ（ジャンケンゲーム）」
- 地域の民話に触れたり社会の課題を学んだりする4択クイズ
- コミュニティスクールの意義や具体的な活動の講演
- グループワーク「CSクロスロード」で熟議の体験

成果（先生の感想から）

- クイズを楽しみながら学ばせてもらった。子どもたちにどんな力をつけて社会に送り出さなければいけないのか、改めて考える機会になった。
- コミュニティスクールの具体的な活動を見せてもらったり、コミュニティスクールが必要となる理由を教えてもらった。
- これまで話したことなかった方と一緒に活動をして繋がりができた。



上記の活動以外にも運営委員会では、学校職員が地域の方に協力していただきたいことが出され、学校と地域で連携する第一歩となりました。（地域の特産物や農家の課題についてインタビューできる地域住民の情報提供、部活動の道具の運搬、放課後学習支援など）

信州型CSアドバイザーの派遣について、支援内容や形態（講演、懇談）など、お気軽にお問い合わせください。（0267-31-0252）



アイスブレイクの様子



グループワークの様子

令和4年度 先生方に参加いただきたい事業

	期日	会場（予定）	研修会名
社会教育	10/17(月) 13:30~16:40	東御市中央公民館	子どもが育つ地域共育フォーラム
	12/5(月) 13:30~16:30	東信教育事務所	地域コーディネーター研修会
興スポーツ振	9/2(金) 午後	東信教育事務所	総合型クラブネットワークアクション
	10/28(金) 午後	東信教育事務所	スポーツ指導者連携会議
教育社会人権	6/28(火) 13:30~	佐久平交流センター	東信地区社会人権教育研修会
	7/27(水) 13:30~	上田市丸子	社会人権教育スキルアップ講座